

様式 1

平成 17 年度茨城大学社会連携支援経費申請書

茨城大学長 殿

申請者 所属 教育学部

代表者氏名 小野寺 淳

下記の本年度の社会連携支援経費を申請いたします。

1. プロジェクト名 (40 字以内)

地域博物館との連携による学術文化交流  
— 「茨城が生んだ江戸時代の地理学者たち」古地図展と公開講演の開催 —

2. プロジェクトの連携先と連携内容 (別紙可)

連携先:

財団法人幕末と明治の博物館・水戸市教育委員会 (水戸市立博物館)・土浦市教育委員会 (土浦市立博物館)・古河市教育委員会 (古河市立歴史博物館)・高萩市教育委員会 (高萩市歴史民俗資料館)・伊奈町教育委員会 (間宮林蔵記念館)

連携内容: (1000 字以内、連携の方法、内容、計画、期待される成果等を具体的に明記)

江戸時代における茨城県域は、長久保赤水、間宮林蔵、鷹見泉石、山村才助など多くの地理学者・地図制作者・探検家を輩出した。茨城大学を会場に日本地理学会秋季大会が開催されるのを機に、茨城大学・日本地理学会・幕末と明治の博物館が主催し、県内の 6 つの博物館と連携、古地図展・公開講演を企画した。茨城県民、本学教職員・学生に江戸時代の古地図の魅力、茨城の風土を理解して頂くことが期待できる。

1. 地域連携事業としての古地図展開催 (詳細は別紙の企画書)

茨城大学と県内 6 つの博物館との連携により、江戸時代の地理学者が作成した古地図と測量具の展示を行う。本学教員による 2 の研究成果も展示に反映される。

2. GIS による国絵図の三次元化とその成果の展示

三次元で表示した国絵図の作成とその展示用パネルの作成のため、写真版のない古地図 7 点を撮影、ネガのある絵図はデュープを作成する。このため、写真版作成費、ノートパソコン 1 台、数値地図が必要である。なお、GIS ソフトは既存のものを使用。上記を本学教員・院生が実施し、解説を執筆、古地図ならびに三次元化された常陸国パネル展示 (図書館展示を予定) を本学で 10 月下旬か 11 月に開催予定。

3. 公開講演「国絵図の世界」 (詳細は別紙の企画書)

茨城大学主催の公開講演を、9 月 18 日に水戸キャンパスで開催する。

申請分野 1 地域の教育力 ② 地域環境形成、自治体との連携 3 産官学連携 ④ 学術文化 5 その他の地域との連携

3. 本プロジェクトにかかわるこれまでの経緯・実績（別紙可）

別紙のように企画案があり、すでに自治体との連携の内諾を得ている。また、ポスター・チラシの製作費用として、後援企業から支援を得る予定である。現在、各博物館では展示の準備を進めており、本学教員による研究成果も展示に反映される。

本プロジェクトは、行政の枠を越えられなかった地域博物館を、茨城大学が中心となって連携した点に特色がある。また、文化的な学術研究の上でも、茨城大学の研究活動が十分に地域に貢献できることをアピールしたいと考え、応募させて頂きました。

4. プロジェクト参加者（含む申請者）

氏名	学部・学科等	職名	分担内容
小野寺 淳	教育学部社会科教育講座（人文地理学）	教授	研究の実施と取りまとめ
朝野 洋一	人文学部社会学科（人文地理学）	教授	地域連携の交渉、公開講演の実施
村山 朝子	教育学部社会科教育講座（社会科教育）	助教授	公開講演の準備・実施
葉 倩緯	人文学部社会学科（人文地理学）	助教授	公開講演の準備・実施

<共通展示テーマ>

**茨城が生んだ江戸時代の地理学者たち**

茨城県は江戸時代に数多くの地理学者・地図制作者・探検家を生みました。古河藩の鷹見泉石、数々の刊行図を描いた長久保赤水、『訂正増訳采覧異言』を著した山村才助、傘式地球儀を制作した沼尻墨僊、蝦夷地探検で知られる間宮林蔵や木村謙次、徳川斉昭の御用絵師酒井忠熙など、全国的にも著名です。彼らの足跡と古地図、また常陸・下総の国絵図の展示を見て、江戸時代における茨城県人の進取的な県民性を再発見してみましょう。

主催：茨城大学・日本地理学会・幕末と明治の博物館

後援：NTT東日本茨城支店・茨城ゼロックス・茨城新聞社 ほか

協賛：水戸市教育委員会・土浦市教育委員会・古河市教育委員会・高萩市教育委員会・伊奈町教育委員会

<会場>

幕末と明治の博物館

企画展： 国絵図の世界—古地図にみる茨城—

会期：9月10日（土）～10月23日（日） 月曜休館

高萩市立歴史民俗資料館

企画展： 世界に広がる赤水図 —長久保赤水資料展—

会期：9月1日（木）～11月29日（火）

休館日：月曜日（祝日と重なる場合は翌火曜日休館）・9月30日・10月28日

水戸市立博物館

常設展 2F歴史部門展示室

企画展： 古地図にみえる風景—城下町水戸の変遷—

会期：7月1日（金）～18年5月31日（水）

休館日：月曜・祝日（但し8月15日、11月3日、23日、2月11日は開館予定）

土浦市立博物館

常設展： 山村才助・沼尻墨僊

会期：9月10日（土）～10月23日（日） 月曜休館

古河市立歴史博物館

常設展： 鷹見泉石（企画展示室使用）

会期：8月27日（土）～9月19日（月） 月曜休館

伊奈町立間宮林蔵記念館

常設展： 間宮林蔵

常時展示：月曜休館

茨城大学： 常陸国絵図1～3点 + 江戸時代の地理学者に関する解説

会期1：9月16日～18日（3日間） 会期2：10月下旬か11月（予定）

### <ポスターとチラシ>

「幕末と明治の博物館」特別展をメインとして、ご協力をいただく博物館の会期と地理学者名を記載したポスターとチラシを作成いたします。ポスターは、後援企業からの御支援によって作成いたします。7月末までに、博物館、中・高等学校、JR各駅などにポスターを掲示する予定です。チラシ「江戸時代の地理学者に関する解説」は小野寺淳が執筆し、A4判（表はポスター、裏に解説）の印刷物にし、各館に必要部数を郵送させていただきます。

### <記念絵はがきの作成>

共通展示テーマに合わせた絵はがきを後援企業からのご支援により作成し、7会場のうち3会場を訪れた来館者に絵はがきを進呈します。各館に必要部数の絵はがきをお送りいたします。なお、記念絵はがき作成の際には、収蔵品の絵はがき作成にご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

### <公開講演 「国絵図の世界」について>

主催：茨城大学

開催日時： 9月18日（土） 午後1時より4時半まで

会場： 茨城大学共通教育棟 10番教室

講演内容

- 13:00～14:00 川村博忠（東亜大学）：国絵図の世界－江戸時代の国土基本図－
- 14:00～14:30 杉本史子（東京大学）：国絵図と国境
- 14:30～15:00 平井松午（徳島大学）：国絵図を三次元表示する－絵図のGIS分析－  
(休憩)
- 15:30～16:00 玉川里子（水戸市立博物館）：茨城が生んだ江戸時代の地理学者たち
- 16:00～16:30 小野寺淳（茨城大学）：絵図を写す人々－常陸国絵図を例に－  
司会：石原道明、尾崎久美子（幕末と明治の博物館）

### <リンクのお願い>

インターネット上での公開のため、下記のホームページとリンクをさせていただきたくお願い申し上げます。

<http://geography.edu.ibaraki.ac.jp>